

よつば通信



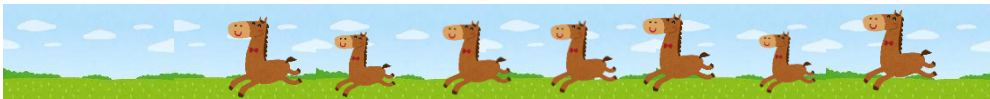
令和8年1月13日
魚津市立よつば小学校
第6号
URL www.yotsuba-e.tym.ed.jp

清々しい幕開け ～たくさんのしあわせが訪れますように～

3学期の始業式は、学期の始まり、そして新しい年の始まりへの期待を込めた大切な式であると考えています。子どもたちは、こういった節目節目で気持ちを新たにスタートラインに着きます。ですから、これからの学校生活に明るく前向きな気持ちで臨むことができるようなメッセージを伝えたいと思っています。

今年は午年です。馬は仲間と群れを成して生活する動物であり、昔から力強さとスピード、そして前向きで燃えるようなエネルギーの象徴と言われてきました。今回は、午年にちなんで、「仲間と温かい気持ちでつながり合い、失敗を恐れず、前を向いてエネルギーにいろいろなことにチャレンジしていきましょう。」と伝えました。

一番印象的だったのは、全校の子どもたちが目を見開いて一生懸命なまなざしで話を聴いていたことです。壇上から子どもたちを見渡すと、一人一人の子どもたちと目が合うのです。子どもたちの新しい年の始まりに込める期待と決意を感じ、心が引き締まる思いでした。



みんな成長しています

身体測定を終えた6年生が、廊下で内履きを履きながら「何センチ伸びた？」と友達と話しているところに通りがかりました。

ほほえましい光景だったもので、思わず、「どうだった？」と声をかけると、「2センチ！」と、「えっ、ぼくはそんなに伸びてない。」と、「いいな、何センチでも伸びているってうらやましい。」と思わず大人の本音がぼろり。通りすがりに、こうして子どもたちと肩の力を抜いた会話ができることのしあわせをかみしめる瞬間でした。

何センチでもいい。日ごとに成長し、元気に過ごしていて、こんなふうに柔らかい心で人と会話ができる当たり前の日常が、本当はとても有難いことだなと子どもたちを見てしみじみ思います。

心も体も大きくなあれ。



書初め大会



書初めの歴史をたどると、その起源は、はるか平安時代にさかのぼると言われています。まさに日本の伝統文化です。一般に、書初めは1月2日に行うとされていますが、よつば小学校では、新年明けて最初に登校した日に行っています。

～心地よい緊張感と静寂に満ちた教室・体育館～

1～6年生全ての学年が、しんと静まり返った会場で真剣に書初めに取り組んでいました。

～みんなちがって みんないい～

廊下の掲示板に張り出された作品を見ていると、子どもたちが近寄ってきて、自分の作品について話し始めます。感想を聞きたいのだなと察して、「はらの勢がいいね」とか「止めが力強くていいね」とか「名前が美しくかけたね」といった具合によさについてコメントします。子どもたちは照れくさそうにしながらも、嬉しそうに教室へ戻っていきます。愛おしいです。

「文字は人なり」それぞれどれも味があって、唯一無二の作品となりました。